

令和2年2月13日

都道府県臨床工学技士会
会員 各位

一般社団法人 茨城県臨床工学技士
会長 平根 佳典

医療機関における人工呼吸器の取扱台数等に関する緊急調査（依頼）

謹啓

貴殿 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃から種々お世話になり感謝いたします。

さて、2019年12月以降、武漢市（中国湖北省）において、新型コロナウイルスによる感染症が集団発生しております。日本国内においても肺炎患者が増加しており、重症化も懸念されているところです。一方で、従前から、インフルエンザ等のパンデミック時における医療機器の配備不足も懸念されております。

現在、都道府県による感染症指定医療機関における人工呼吸器の保有台数等の調査がなされております。（一社）日本呼吸療法医学会および（公社）日本臨床工学技士会では、さらに広範囲な状況把握が必要との判断に基づき、全国の病院における人工呼吸器およびECMO装置の稼働台数等の緊急調査を行い、重症患者に対する人工呼吸器の適正使用の方針等について検討することとなりました。

ご多用中、急なお願いとなり大変恐縮ではございますが、ご理解・ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

尚、調査期間が大変短い為、電話での調査となる事をお許し下さい。

以上、本緊急調査のお願い少々、末筆ながら貴院のご発展を祈念いたします。

謹白

記

- ・ 調査質問項目 人工呼吸器およびECMO装置の取扱台数など
- ・ 回答の期限 2020年2月17日

以上